

# Crescendo

2021.10  
vol.145

メディキット県民文化センター 広報誌  
MEDIKIT ARTS CENTER

人形劇団ブーク『エルマーのぼうけん』  
エルマーと一緒に冒険の旅へ!

第七劇場『桜の園』  
演出・鳴海康平インタビュー

OBSESSION  
三船優子×堀越 彰

Let's和の音♪  
弾き、唄い、語る!「一人勧進帳」

「ここはどこでしよう?」第7弾は、劇場を取り囲む宮崎県総合文化公園。秋の空の下、みんなでピクニックをしよう!おもちゃに、ママの作ったおべんとう、おやつをもって集合—!!!

# エルマーのぼうけん

こどもおとな劇場 #6

答えてくれたのはこのお二人!

演出

柴崎喜彦さん

出演

前田佳奈英さん  
(エルマー・エレベーター役)

『エルマーのぼうけん』の人形は、けっこう大きいですよね。

**柴崎** エルマー少年の全身が大体90cmくらい。エルマーの大きさにあわせて、ほかの大人や動物たちの大きさも決めました。例えば、大人のキャラクターは1m20cmくらい。ゴリラだと男性が一人(中に)入っているので、2mは少なくとも超えると思います。

これらの人形は誰がついているんですか?

**柴崎** プークは、プロの美術家が劇団内にいるので、全部その人たちがつくります。美術部自体は5人いるのですが、この作品をつくるときはそれでは足りなくて、専門のアルバイトさんを雇って…

**石田** (人形劇団プーク 制作) そのときは、ありとあらゆる人に手伝ってもらって、初日の直前までずっと作業していたので、初日を迎えるまで近年まれにみる大変な日々でした(笑)。

エルマーの目の色などもそうですが、色がとてもきれいでですね。

**柴崎** 日本人にはない色合いでよね。様々な色の、カラフルな舞台です。(人形の)デザイナーはブルガリアの人形劇界の第一人者、マイヤ・ペトローヴァさんという方ですが、色々なところにこだわりがあって。エルマーの首なんかは、本来は細いと折れてしまうので僕らはあまりやらないのですが、スタイリッシュなラインが彼女のこだわりで、それでもすごく堅い木でできています。この細い足もそうで、だからけっこう重いんですね。

ちなみに、このエルマーの人形は何キロくらいあるんですか?

**前田** 自分の体感だと、5キロないくらい…?

**柴崎** (人形の)体は軽いんですけど、頭が重いので、頭を操作するとバランスが崩れたりして。走ったりとか、隠れたりとか、とにかく様々な動きをするので、けっこう大変ですね。



世界の名作物語を“こどもおとなも”楽しめる舞台作品にしてお届けするシリーズの第6弾は、名作童話『エルマーのぼうけん』が、色鮮やかな人形劇の世界になって登場します!上演するのは、1929年創立で日本を代表する人形劇団のひとつ、「人形劇団プーク」です。今回は、劇団の方々にあれこれインタビュー!ぜひこれを読んで、ご家族一緒に公演へお出かけください♪



あらすじ

空を飛ぶ夢をもつ少年エルマーは、なかよしの老ネコのミミから、どうぶつ島にとらわれているかわいそうな子どものリュウの話をききました。「ねえミミ、ぼくは決心した。そのリュウを助けにどうぶつ島へいこう。」しかしどうぶつ島には、ライオンやトラ、猛獣がたくさん!エルマーはリュックにたくさんのガムやキャンディーを詰め込んで出かけます。たまたまエルマーは、リュウを助けることができるでしょうか?!



人形だからこそできる動きもあって、観て面白いです。

**柴崎** 人形をつくるときに、こういう動かし方をしたいからこういう構造で、ということは演出家と美術家で考えますが、それ以外の動き、どういうふうに走るとか、どういう格好なのか、ということは役者が考えています。(動物など)人間ではないものや、大きいものから小さいものまで、一人の人間ができるので、人形劇はそれが最大の魅力かと思います。

最後に、本作の見どころを教えてください!

**前田** エルマーが、ひとつの夢に向かって、どう叶えようとしていくのか、というところでしょうか。夢が叶うことが大事というわけではなく、でもその夢のためにどう頑張るか、そういう過程がこの作品では楽しめると思います。観てくれる子どもたちも、夢を叶えるために頑張るぞと思えたり、興味があることを頑張ってみよう、とつながっていったらいいなと思います。

**柴崎** プークの『エルマーのぼうけん』は、原作にはない敵が出てくるんですよね。それから、原作ではエルマーが一人で(どうぶつ島に)行くのですが、プークでは野良猫のミミと一緒にいく。プークの作品は“仲間”ということがテーマとしてあるので、一人では越えられない壁を、仲間といかにして超えていくのか、それを子どもたちにぜひ観てほしいです。

公演情報  
こどもおとな劇場#6  
人形劇団プーク『エルマーのぼうけん』  
日時／【宮崎公演】2021年11月27日(土)  
開場13:15 開演14:00  
【門川公演】2021年11月28日(日)  
開場13:15 開演14:00  
会場／【宮崎公演】演劇ホール  
【門川公演】門川町総合文化会館  
[原作] R・S・ガネット  
[翻訳] 渡辺茂男(福音書店刊)  
[脚色] 川尻泰司 [演出] 柴崎喜彦  
[出演] 前田佳奈英、滝本妃呂美、大橋友子、栗原弘昌、野田史図希、亀井佑子、有田智也、長瀬円美、佐藤翔太、勝二春陽

劇場第七  
ツアー2021

# 桜の園

原作 A.チエーホフ 構成・演出・美術・訳 鳴海康平

ロシアの劇作家チエーホフ(1860-1904)による戯曲『桜の園』。1904年にモスクワ芸術座で初演された、チエーホフ四大戯曲最後の作品で、いまだ世界中で上演され続ける名作戯曲です。お送りするのは、今年2月に同じく四大戯曲のひとつ『ワニヤ伯父さん』を上演し、好評を博した第七劇場。今回、演出を務める鳴海康平さんにお話を伺いました。



鳴海康平

第七劇場代表・演出家。  
Théâtre de Belleville,芸術監督。  
早稲田大学在籍中に劇団を設立。  
ボーラ美術振興財團在外研修員(フランス・2012年)。これまで国内24都市、海外5ヶ国11都市で作品を上演。

あらすじ

かつての裕福なころの浪費癖が抜けない女地主ラネーフスカヤが、久しぶりに自分の土地に帰ってくる。しかし、その土地の桜の園は借金返済のために売りに出される。商人口バーピンがこの状況を切り抜けるための助言をしても、ラネーフスカヤたちは聞こうとはしない。桜の園の売却が決まり、ラネーフスカヤたちは屋敷を後にする中、桜を切り倒す音が響く。



これまで第七劇場では、『かもめ』『三人姉妹』『ワニヤ伯父さん』とチエーホフ四大戯曲を上演し、いよいよ最後の『桜の園』となりますね。

2007年に初演した『かもめ』は、国内だけでなく海外でも上演し、第七劇場のクリエーションの中では上演回数が一番多く、長く取り組んできた作品です。それがきっかけで、チエーホフの戯曲の緻密さ、洞察力に興味を持ち、ほかの四大戯曲にも取り組むようになりました。

『桜の園』もいつかは上演したいなと思いつつも、どういうタイミングで制作するか悩んでいましたが、現在のコロナ禍や世界情勢などを見たときに、作品の内容や描かれているモチーフがフィットするのではと思いまして、今年上演することにしました。

『桜の園』のどういう部分が、現在にフィットしますか?

『桜の園』は四大戯曲の中でも特に、登場人物たちの世代がはっきり分かれているんです。若い世代、40~50代の世代、そして80代。中でも1861年にロシアで起きた農奴解放令の前を知っている人間と、後を生きている人間とで大きく分かれています。世代間の価値観や生き方などの違いとともに、農奴解放令という大きな出来事を経験しているかどうかということも、キャラクターの違いに表れています。

また、今年で私は42歳になるんですけど、主人公のラネーフスカヤと同じぐらいの年齢で、もう残りの人生というものを考えなきやいけない世代です。若い世代には残りの人生というものが果てしなく続くようになりますが、もう目の前に死が近づいている世代もいる。残りの人生というものの見方や視点が、世代によって異なると思うんです。

私たちが生きている現代においても、新型コロナウイルスや東日本大震災、9.11など、世界の価値観やシステムに影響を与え

る大きな出来事が、ここ十数年ですら起きています。現在のコロナ禍でも、失われたもの、取り返しのつかないものが出てきています。そうした大きな出来事を経て、私たちが残りの人生をどうやって生きていくべきか、若い世代に何を残せるのか、どうやって自分たちの人生を楽しむといいのかなど、『桜の園』がそれらを考えるきっかけになるんじゃないかなと思っています。

『桜の園』には“喜劇”という但し書きが入っています。

チエーホフは『かもめ』なども喜劇と考えていたところがありますが、私たちがイメージする喜劇とはちょっと意味合いが違うのではと考えています。『桜の園』はチエーホフが体調の悪い中、先は長くないと知りながら、死ぬ間際に書いた作品で、それゆえ登場人物たちそれぞれの人生を、チエーホフは否定せず、変なところも悪いところもあるけれど、みんな可愛い、愛してあげたいという気持ちが表れている作品です。そういう意味で、チエーホフはこの作品を喜劇と考えていたのではないかでしょうか。

登場人物たちはみんなどうしようもない人間で、欠点もあるし、人の話も聞かない。かといって四大戯曲に極悪人は出てこなくて、みんなどこか悪いところを少しづつ持っている、けれど、どこか憎めない。そういう部分で、チエーホフのキャラクターの描き方は、徹底して人間がかわいいなと思っている節を感じますね。『桜の園』は、自分の人生が終わりそうな人間から見た、人間の人生を肯定したいという願望が出てるようになります。

演出する上で、重要にしているモチーフは何でしょうか?

ラネーフスカヤにとって、『桜の園』は過去の栄光、人生の良い時、良い思い出に置き換えられます。それを自分の手で捨てるという決断ができないまま、だれか他人の手に渡ってしまう——。人間どこかで何かを

諦めたり捨てなきやいけない、諦めたくなくても捨てたくないでもその必要が出てくる時がある。何かを諦めたり捨てたりしても自分の人生は続いていくので、その続していく人生をどう愛するのか、どう楽しむのか、というところが制作している中で私の主要なモチーフになっています。

最後に本誌をお読みの方にメッセージをお願いします。

今年2月に『ワニヤ伯父さん』で宮崎にお邪魔して、またチエーホフでお伺いできるのが楽しみです。『桜の園』は、世界中で今でも上演され続けている作品です。チエーホフ自身が世界的な作家であるというのもありますし、『桜の園』が広い世代や価値観の人が舞台上に出てくる作品だからこそ、今でも上演されているのだと思います。

世界中の人たちが愛して止まないチエーホフの最後の作品を、見届けに、体験に来ていただけたらと思います。

公演情報  
第七劇場『桜の園』  
日時／2021年12月18日(土)、19日(日)  
開場13:30 開演14:00 ※両日  
会場／メディキット県民文化センター  
(宮崎県立芸術劇場)  
演劇ホール舞台上舞台

[原作] A.チエーホフ  
[構成・演出・美術・訳] 鳴海康平  
[出演] 木母千尋、小菅紘史、諏訪七海、増田知就、藤島えり子、金定和沙、森下庸之、三島景太

# 「最小にして最大のオーケストラ」 OBSESSION

堀  
越  
彰  
Drums

三  
船  
優  
子  
Piano

ピアノ×ドラムによる異色デュオ“OBSESSION”。ユニットを組むことになったきっかけや、「最小にして最大のオーケストラ」と表現されるOBSESSIONの魅力などをお聞きしました。

「OBSESSION」を結成したきっかけを教えてください。

**堀越** 世界3大ピアノを3人のピアニストが弾く、というコンサートに急遽助っ人で呼ばれたのが三船さんとの出会いです。その後、三船さんのリハーサルを訪ねた時に、ラフマニノフの『パガニーニの主題による狂詩曲 第18変奏』をリクエストしたんです。実は2000年頃からこの曲を使ってドラムソロをするというパフォーマンスをしていたので、三船さんの演奏を聴いて“一緒にできるかも”と思いました。

**三船** 私も堀越さんの演奏を聴いて、それまで抱いていた「ドラム」の概念を覆され、打楽器でもこんなに歌うことができるのかと衝撃でした。ジャンルを超えて、音楽そのものの感じ方や方向性がとても似ていたことも、デュオを組んでみよう!と思うきっかけとなりました。

**堀越** 半信半疑のスタートでしたが、ヒナステラの「アルゼンチン舞曲集」を音作りしながら大きな可能性を感じていたのを覚えています。

来年の春で結成8年目を迎えるますが、改めてそれぞれどんなアーティストなのか、お互いをご紹介ください。



宮崎初公演です。コンサートを楽しみにしているお客様へメッセージをお願いします。

**堀越** “これぞOBSESSION”と言えるプログラムを組みました。活動8年間に起こったいろいろなエピソードをお話ししながら楽しいひとときになればと思っています。シベリウス「フィンランディア」の中間部は、いつもお客様に歌っていただくのですが、今はできないので、心の中で歌っていただければ嬉しいです。それに12月ですからメリークリスマスですね。お会いできるのを楽しみにしています。

**三船** 私たちの代表的な曲に新たなチャレンジの新曲も含めて、さまざまなスタイルのものを選びました。「ピアノとドラムでクラシック!?」と、なかなか想像がつきにくいと思いますが、クラシックにもこんな楽しみ方もあるんだと、この新しい世界をぜひ体感していただき、取り憑かれていただきたいと思います！待ってて、宮崎！

## 公演情報

### OBSESSION

三船優子 Piano × 堀越 彰 Drums

日時／2021年12月11日(土)  
開場13:30 開演14:00

会場／メティキット県民文化センター  
(宮崎県立芸術劇場)イベントホール

【出演者】  
三船優子(ピアノ)  
堀越 彰(ドラム)

【曲 目】  
ボロディン:ダッタン人の踊り  
ドビュッシー:月の光  
ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー ほか

# Let's 和の音♪『一人勧進帳』

今年度からの『Let's 和の音♪』は、邦楽と密接なかかわりのある日本の伝統文化に焦点を当て、日本文化の面白さを体感できる公演を3年シリーズで開催します。第1弾のテーマは「邦楽と歌舞伎」。歌舞伎にかけない楽器・三味線の歴史や歌舞伎との関係、歌舞伎十八番のひとつ「勧進帳」の魅力などを、長唄三味線方の杵屋邦寿が楽しく伝授します。出演者の杵屋邦寿さんと、企画監修を務める織田麻有佐さんにお話を伺いました。



企画監修  
おだ まゆざ  
織田麻有佐 さん  
(邦楽ジャーナル)

長唄三味線方  
きねや くにとし  
**杵屋邦寿 さん**

～「一人勧進帳」って？～

歌舞伎の中でも、特に人気の高い演目『勧進帳』を題材に、舞台が始まる流れから、台詞や歌詞の意味、役者の動きや音楽が入るタイミングなど、どんなきっかけで舞台が進行していくのか、三味線一挺で弾き、唄い、語る、という邦寿氏のオリジナル作品。

そんな長唄のワークショップも前日にあるんですね！?

**邦寿** ユニークな歌詞で、今でいうラップのような同じリズムに言葉を入れていくものや、昔、いろいろな名産の飴を売る時に、子どもたちと飴売りが一緒に歌っていた「飴売りの唄」など、色々な長唄を体験してもらおうと思っています。リズムの取り方も、簡単なものから難しいものまで体験してもらいますが、その難しさを体験してもらうのも大事なことかなと。

**織田** 長唄のお稽古の時は、お師匠さんがハリセンでリズムをとりながら唄うそうです。せっかくですのでワークショップの中で、自分用のハリセンを作ってもらおうと思っています。それを使って、長唄の体験をしてもらえたたらより楽しいかと。

**邦寿** 歌舞伎「勧進帳」に出てくる謡(うたい)がかりも体験していただきますので、ワークショップにお越しいただけると、より公演を楽しんでいただけるんじやないかと思います！

「長唄ワークショップ」※要事前申込  
開催日／2022年1月15日(土)  
時間／子どもクラス 10:30～12:30  
大人クラス 14:00～16:00  
参加料／おひとりにつき1,000円

公演情報

## Let's和の音♪『一人勧進帳』

日 時／2022年1月16日(日)  
開場13:30 開演14:00

会 場／イベントホール

出演／杵屋邦寿(長唄三味線方)  
織田麻有佐(企画監修・聞き手)

## 今回の「オルブラ」は クリスマスシーズンにお届け!

テーマは「聖夜のファンタジー」。  
壮麗なパイプオルガンの音色、合唱の響きに包まれて  
癒やしのひと時をお過ごしください。

### 公演情報

#### パイプオルガン プロムナード・コンサートvol.169「オルブラ」

日時／2021年12月18日(土) 11:00開演  
会場／メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)  
アイザックスターントホール

出演／加藤麻衣子(オルガン)、伊豆謡子(コンサート・ソムリエ)  
鵬翔中学校高等学校 合唱部(合唱)

## 「おうちで楽しむパイプオルガン」 動画公開中!

オルガン奏者の稻森愛さんと北川倫代さんの演奏とともにパイプオルガンを解説する動画を、Youtubeにアップしました!普段は見ることができないオルガンの裏側までご紹介。オルガンの音色を聴いたことがない方も、聴いたことはあるけどオルガンを間近で見たことがない方もどうぞお楽しみください。

Youtube



## 公式ホームページ リニューアル

4月に、公式ホームページをリニューアルいたしました。施設のご利用案内や、公演のチケット情報等、劇場の最新情報を掲載しております。また、劇場に足を運ぶ前のワクワク感を大切に、写真を多用するなど劇場を身近に感じingができるように一新しました。ぜひ、覗いてみてください!



## SNSも やっています

チケットの販売情報や公演にまつわる追加情報、施設貸出の抽選状況など、劇場の最新情報をリアルタイムでお届けしています。

Twitter



Facebook



## キャッシュレス決済、 開始しました。

これまで、窓口でのお支払いは現金やクレジットカード決済のみでしたが、この度、電子マネーやQRコード決済もできるようになりました。公演のチケット代金に加え、施設や備品等の利用料にもご利用いただけます。ぜひご活用ください。



クレジットカード



電子マネー



QRコード



## 空いているお部屋が一目で分かる

施設の空き状況		期間の空き状況		目的で検索	
ナレンダーを開く					
令和3年12月15日(水) メディキット県民文化センター			本日	1日前	1日前
≤1ヶ月前	≤1週間前	≤1日前	9	10	11
			12	13	14
			15	16	17
			18		
アイザックスターントホール			○		
演劇ホール			×		
イベントホール			○		
大講習室1			×		
大講習室2			×		
中講習室1			○		
中講習室2			○		
中講習室3			○		
中講習室4			○		
小講習室1			○		
小講習室2			○		
小講習室3			○		
小講習室4			○		
ミーティングルーム			○		
和室			○		

劇場の練習室の予約がオンラインでできるようになりました。これまで窓口や電話でのみ受付しておりましたが、パソコンやスマートフォンからいつでもどこでも予約が可能に。施設の空き状況も確認できますので、この機会にぜひご利用ください。



オンライン予約は事前に利用許可を受けた方が対象です。利用申請は劇場の公式ホームページからダウンロード・ご提出が可能です。

◀予約はこちら

◎ホールの予約は、窓口・電話のみの受付です。 ◎オンライン予約は、利用日の2日前までです。

## 表紙の撮影

今回、表紙の撮影にご協力いただいたのは、ママ友なかも皆さん!定期的にピクニックを楽しんでいるそうです。ご協力ありがとうございました!



ほら!カメラはこっちだよ!

つむぎ はやと しおり みづか ゆいと  
(左から)紡ちゃん、颶仁くん、詩織ちゃん、瑞佳ちゃん、結人くん

## 公演延期・中止情報

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の公演を延期して開催いたします。詳しくは、劇場公式ホームページをご覧ください。

事業名	開催予定
Miyazakiアウトリーチアーティスト・エキシビション#5	-5/22— 12/5(日)に延期
アートな学び舎「会話であそぼう!」	-9/11、12 12/25(土),26(日)に延期
おんがくのおもちゃ箱シリーズ part.14 クラシック編	-9/12 2/20(日)に延期
'21みやざきの舞台芸術シリーズⅢ THEATRE CARAVAN!!!「寿歌～ほぎうた」	-11/17、18 1/26(水),27(木)に延期
イザベル・ファウスト&イル・ジャルディーノ・アルモニコ	-11/23— 中止
'21みやざきの舞台芸術シリーズⅣ「Week-End Danse Baroque」	-12/26— 中止

# メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)自主事業公演チケット情報

11月6日(土) 開演18:00 演劇ホール	ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ directed by エリック・ミヤシロ 【出演】ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ 【全席指定】S席 完売/A席 4,000円(3,600円)/ペア割 完売/U25割(A席) 2,000円	残りわずか!
【宮崎公演】 11月27日(土) 開演14:00 演劇ホール	【門川公演】 11月28日(日) 開演14:00 門川町総合文化会館	こどももおとなも劇場#6 人形劇団ブーク『エルマーのぼうけん』 【原作】R・S・ガネット 【翻訳】渡辺茂男(福音館書店刊) 【脚色】川尻泰司 【演出】柴崎喜彦 【出演】前田佳奈英、滝本妃呂美、大橋友子、栗原弘昌、野田史図希、亀井佑子、有田智也、長瀬円美、佐藤翔太、勝二春陽 【全席指定】一般2,500円(2,300円)/U25割1,000円/親子割3,000円(4歳から中学生+一般)※会員割引は宮崎公演のみ
12月11日(土) 開演14:00 イベントホール	OBSSESSION 三船優子Piano×堀越 彰Drums	チケット発売中
【出演】三船優子(ピアノ)、堀越 彰(ドラム) 【全席自由】一般3,000円(2,700円)/U25割1,500円		
12月18日(土)・19日(日) 開演14:00 演劇ホール舞台上舞台	第七劇場『桜の園』 【原作】A.チエーホフ 【構成・演出・美術・訳】鳴海康平 【出演】木母千尋、小菅紘史、諏訪七海、増田知就、藤島えり子(room16)、金定和沙(青年団)、森下庸之(TRASHMASTERS)、三島景太(SPAC-静岡県舞台芸術センター) 【全席自由】一般2,500円/25歳以下1,000円/18歳以下500円	チケット発売中
12月18日(土) 開演11:00 アイザックスタンホール	パイプオルガン プロムナード・コンサート vol.169 土曜日の朝はオルガンでブランチを…「オルブラ」	チケット発売中
【出演】加藤麻衣子(オルガン)、伊豆謡子(司会・進行) 【全席自由】4歳以上500円/なかよしチケット700円(4歳以上の2人1組、前売りのみ)		
2022年1月16日(日) 開演14:00 イベントホール	Let's 和の音♪「一人勧進帳」 【出演】杵屋邦寿(長唄三味線方)、織田麻有佐(企画監修・聞き手) 【全席自由】一般2,000円(1,800円)/U25割1,000円	チケット発売中
1月26日(水)・27日(木) 開演19:00 演劇ホール舞台上舞台	※当初の日程(11月17日・18日)から変更して開催いたします '21みやざきの舞台芸術シリーズIII THEATRE CARAVAN!!! 「寿歌～ほぎうた」 【作】北村想 【演出】河内哲二郎 【出演】河内哲二郎、堀井政宏、吉田佳世、塚田次実(モノ遣い)、高橋芙実(舞踏)、【音楽・演奏】辰巳光英・関根真理 【全席自由】一般2,500円/U25割1,500円/高校生以下1,000円/小学生無料	チケット発売中
2月20日(日) 開演11:00 演劇ホール	※当初の日程(9月12日)から変更して開催いたします おんがくのおもちゃ箱シリーズPart.14 クラシック編 【出演】田村 緑(ピアノ)、田島千愛(ソプラノ) 【全席自由】3歳以下無料/4歳以上500円/なかよし700円(4歳以上から大人までの2人1組)	振替前のチケットをお持ちの場合 お手元のチケットがそのまま有効となります。

■ Attention(ご注意) ■ ◎記載情報は変更になる場合があります。 ◎( )内はくれっしえんば会員価格です。 ◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。  
◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く ◎託児サービス(有料・事前申込要)がご利用いただけます。※一部公演除く

公演中止の お知らせ	開催を予定しておりました下記の公演は、日本への入国制限の緩和が現時点で見通せないことから中止させていただきました。 公演を楽しみにされていた皆さまには、心よりお詫び申し上げます。		
	イザベル・ファウスト&イル・ジャルディーノ・アルモニコ '21みやざきの舞台芸術シリーズIV「Week-End Danse Baroque」	11月23日(火・祝) 12月26日(日)	チケットの払戻し:11月30日(火)まで

## 劇場の未来をつくる!! なかで働く人 スタッフ紹介vol.4

お仕事の内容は?

施設全体の管理をしています。  
修繕管理をはじめ、感染症対策や備品管理など業務は多岐にわたります。

職員の要望で作った  
デスクパーテーション

「こんなのがほしい」の声があれば  
すぐに作り出す

お問合せ

宮崎県立芸術劇場  
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670  
http://www.miyazaki-ac.jp/

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670  
Twitterとfacebook随時更新中!「フォロー」と「いいね!」お待ちしています。